

昭和狸合戦

さいとうちゃん

我らはこの山の長である。我らには熊のような体軀も、鷲のような翼もない。決して強い生き物とは呼べないだろう。しかし我らがたった十数匹でこの山のケモノたちの上に立っているのは、よくはたらく知恵と変化の術のおかげである。おかげで山のふもとの人里に下りることだってできる。

それにしても近頃のニンゲンの里はなにやら不思議なものにあふれている。道には明かりのつく木が生えているし、家では哥の鳴る箱に耳をかたむけている。とはいえ暮らしが大きく変わったわけではないようだ。我らの暮らしもそう変わることはないだろう。

〔アспект生成質問〕

- **変化の術。** 私たちが変化の術を使うのは一体何のためですか？
- **山の掟。** 里山に秩序をもたらすために守らなければならないことは何ですか？
- [自由アспект]。好きに決めてください。

〔共同体への質問〕

- 私たちにとってニンゲンとはどのような存在ですか。人里へ定期的の下りなければならぬのはなぜですか。
- 変化の術を使うために払う代償とは何ですか。
- 私たちと他の動物たちを分けるものは何でしょうか。私たちと他の動物たちの関係はどのようなものですか。
- 私たちの住む山の特徴とは何ですか。山がもたらす恩恵・困難はどのようなものがありますか。
- 私たちの中で争いが起こったらどのように解決しますか。他の動物との間に争いが起こった場合はどうしますか。

名前

正吉、おキヨ、小春、ぼん太、まめだ、こがね丸、ミヨ、矢三郎、信楽、ポコ、鼓八千

〔時代の移行〕

〔時代〕2へ移るにあたって〔展開〕を（黒い左欄か、赤い右欄か）選ぶ。以降は、選んだ方の〔展開〕が続く。

〔時代〕2へと移る。〔アイソレーション〕の終わりを予感させる出来事。それはあらゆる会話の中に潜んでおり、無視などできない。

仲間の一人が人里の外れに見たことのない大きな機械を見つけました。畑を耕す道具でしょうか、地面を掘っているようです。その報告は共同体で共有されました。

その報告を楽観視するのは誰ですか？

その報告を脅威だと感じるのは誰ですか？

仲間が深い傷を負いました。私たちの餌場を荒らす見知らぬ獣に襲われたそうです。私たちは身体的には他の動物たちとそう変わらないことを思い出しました。

傷ついた仲間はどう接するのでしょうか？

その獣にどのようなアプローチをするのでしょうか？

〔時代〕3へと移る。予期されていたことが起きてしまう。〔アイソレーション〕の終わりは近い。この定めからは逃れられない。

人間は機械で木を倒し地を砕き山を開いていきます。たくさん動物が住処を追われました。私達も例外ではありません。

人間に対抗するのは誰ですか？

どのように対抗しますか？

その獣たちは山に住み着き、食料を食い尽くし仲間を狩り始めました。他所から移ってきたのか、人間が放ったのかは定かではありません。確かなことは彼らには言葉が通じないということ、彼らのほうが身体的に強いということ、そして彼らは私達をご馳走だと思っていることです。

その獣にどう対抗するのでしょうか？

住処を離れる決意をした仲間もいました。それはどのような者でしょうか？

〔遣されゆくもの〕へと移る。最後の瞬間、またはその結果。

山は平野になってしまいました。私達が統べていた山はそこにはもうありませんでした。人間はなおたくさん機械で野を平にしています。新しい建物の建設も始まっています。今やそこに山があったことを信じられないくらいです。

住処を失った私達はどのように暮らすのでしょうか。新しい住処を探しますか？ 人間に紛れて過ごしますか？ それとも他の道があるのでしょうか。

仲間もう数えるほどしか残っていません。仲間のほとんどが住処を出ていったか狩られてしまいました。あの獣はどんどん数を増やしています。今やこの山の支配者はあの獣たちです。

最後までこの住処に残るのは誰ですか？

最期の日々をどのように過ごしますか？

出ていったものは故郷をどのように思い出しますか？

さいとうちゃん

本文

鮎方高明

編集

さいとうちゃん

イラスト

このバックドロップは、ロールプレイング・ゲーム『ダイアレクト』(Thorny Games)のアクセサリです。
『ダイアレクト』について興味がある方は、harrowhill.rdy.jpをご参照ください。

遊ぶにあたって、このバックドロップは自由にコピーしていただいて構いません。またクリエイティブ・コ
モンズ「表示-非営利-継承」ライセンス範囲内で自由にご利用いただけます。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/4.0/deed.ja>

This backdrop is copyright 2022 by Saito-chan, twitter account: @Ssawagani.

Dialect is copyright 2017 by Thorny Games, LLC. All rights are reserved.

Japanese translation published by arrangement with Thorny Games

Publication. © 2020 by Harrow Hill.



昭和狸合戦

